

出雲市のため池^{ちょうさ}調査

水の中に生える植物



イヌタヌキモ



ガガブタ



ヒシ



コナギ

出雲市

平成30年3月

注意しましょう！

- ・水辺へ一人で行くのは、きけんです。大人といっしょに行きましょう。
- ・川や池では、採^とってはいけない生きものや、使^{とく}ってはいけない道具があります。決まりを守りましょう。
- ・ブラックバスやウシガエルなどの特定外来生物^{とくていがいらいせいぶつ}を生きたまま別^{べつ}の場所^かへ持^もって行くことや飼^{ほうりつ}うことは、法律^{きんし}で禁止されています。
- ・ペットのカメやザリガニ、金魚などの生きものや水草を川や水路に放^{はな}すのは、やめましょう。

生きたまま移動はできません！（特定外来生物※1）



オオクチバス（ブラックバス）



ブルーギル



ウシガエル

※1 特定外来生物：とくていがいらいせいぶつ とく せいだいけい えいきょう ほうりつ いどう しきく きんし がいらいせいぶつ 特に生態系への影響が大きい^{えいきょう}ため法律で移動^{ほうりつ}や飼育^{いどう}が禁止^{しきく}されている外来生物^{きんし}

最後まで責任^{せいきにん}をもって飼^かいましょう！（総合対策外来種※2）



ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）



ホテイアオイ



アメリカザリガニ

※2 総合対策外来種：そうごうたいさくがいらいしゅ せいだいけい えいきょう ほうりつ よ がいらいせいぶつ 生態系への影響が大きい^{えいきょう}ため法律で注意^{ほうりつ}を呼びかけている外来生物^よ

もくじ

ため池と水草	4
ジュンサイ	6
ハゴロモモ	7
えんげい 園芸スイレン	8
ヒツジグサ	9
アオウキクサ	10
ウキクサ	11
スブタ	12
ヤナギスブタ	13
クロモ	14
オオカナダモ	15
コカナダモ	16
コラム がいらいしゅ 水草の外来種	17
オオトリゲモ	18
ミズオオバコ	19
エビモ	20
フトヒルムシロ	21
ホテイアオイ	22
コナギ	23
コラム ぜつめつきぐしゅ 水草の絶滅危惧種	24
マツモ	25
ヒシ	26
ミズユキノシタ	27
イヌタヌキモ	28
ガガブタ	29
水草を調べてみよう	30

ため池と水草

出雲市には、たくさんの池があり、そのほとんどがため池です。ため池とは農業、特に田んぼ（水田）の水を確保するために造られた人工の池です。自然にできた池や沼はため池ではありません。ため池は、雨水や川の水を取り込み、ためて、田んぼや水路に流すためのものです。また、公園の池もため池のひとつです。ため池には、コンクリートで囲われたものや、いろいろな大きさのもの、林の中にあるものなどさまざまな環境があります。そして、そこには一年中水があるので、水の中にすむ生きものにとって、大切な場所となっています。



①公園の池



②コンクリートで囲われたため池



③林の中の小さなため池



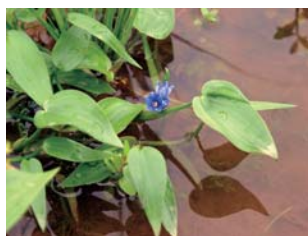
④大きなため池

○ため池に生える植物 水草

水草は植物と水面の位置関係に基づいて、4つに分けられます。

(1) 抽水植物

茎や葉が水面を突き抜けて空気中にする植物です。水が引いて湿地になっても、土が乾かない限り、通常の生活をするができます。コナギ、ミクリなど



抽水植物 コナギ

(2) 浮葉植物

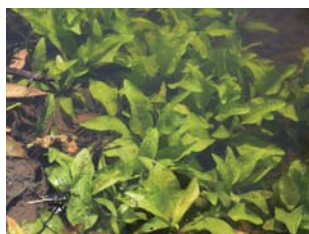
水の底から茎や葉の茎が伸び、水面に浮かんだ葉を広げる植物です。あまり深い場所では生えることができません。水の流れがあまりないところに生えます。ジュンサイ、ヒシなど



浮葉植物 ジュンサイ

(3) 沈水植物

植物全体が水中に沈んで生長する植物です。水中生活にもっとも適応した水草です。光合成に必要な光が届く場所なら深い場所でも生えることができます。クロモ、ミズオオバコなど



沈水植物 ミズオオバコ

(4) 浮遊（浮標）植物

根が水の底につかず、水面または水中を浮遊する植物です。根を水の底にはらないため、生長に必要な栄養物質は水中から吸収します。ウキクサ、ホテイアオイなど



浮遊植物 ウキクサ

水草の中には、同じ種でも、生えている場所の水深や流速に合わせて、その形が大きく変わるものもあります。よく観察してみましょう。

ジュンサイ



しまねRDB^{※1}: 準絶滅危惧 (NT)

ぶんるい もく か ぞく
分類: スイレン目ハゴロモ科ジュンサイ属

ふしよくえいよう ひん ちゅうえいよう ※2
生育場所: 腐植栄養または貧〜中栄養の湖やため池に生えています。

とくちょう ふよう だえんけい くき たてがた
特徴: 水面の浮葉は楕円形で、葉の真ん中あたりから茎が出ている楕型の
の葉をしています。葉の裏、若芽、葉の茎などの表面は、ぬるぬるした透
めい ねんえき ※3
明の粘液でおおわれています。多年草で花は6〜8月頃に咲きます。若
め しょくざい りよう
芽は食材として利用されています。

※1 RDB:レッドデータブックの略。絶滅の危機に瀕している生きものが記録してある本です。

※2 貧、中、腐植栄養: 池の中の栄養状態を示しています。貧栄養は栄養が少なく水が透き通っ
ています。腐植栄養は多くの植物が腐って溶けた栄養で、水の色が黄色い褐色または褐色
をしています。

ハゴロモモ



かんきょうしょう そうごうたいさくがいらいしゅ じゅうてんたいさくがいらいしゅ ※4
環境省：総合対策外来種／重点対策外来種

ぶんるい もく か そく
分類：スイレン目ハゴロモモ科ハゴロモモ属

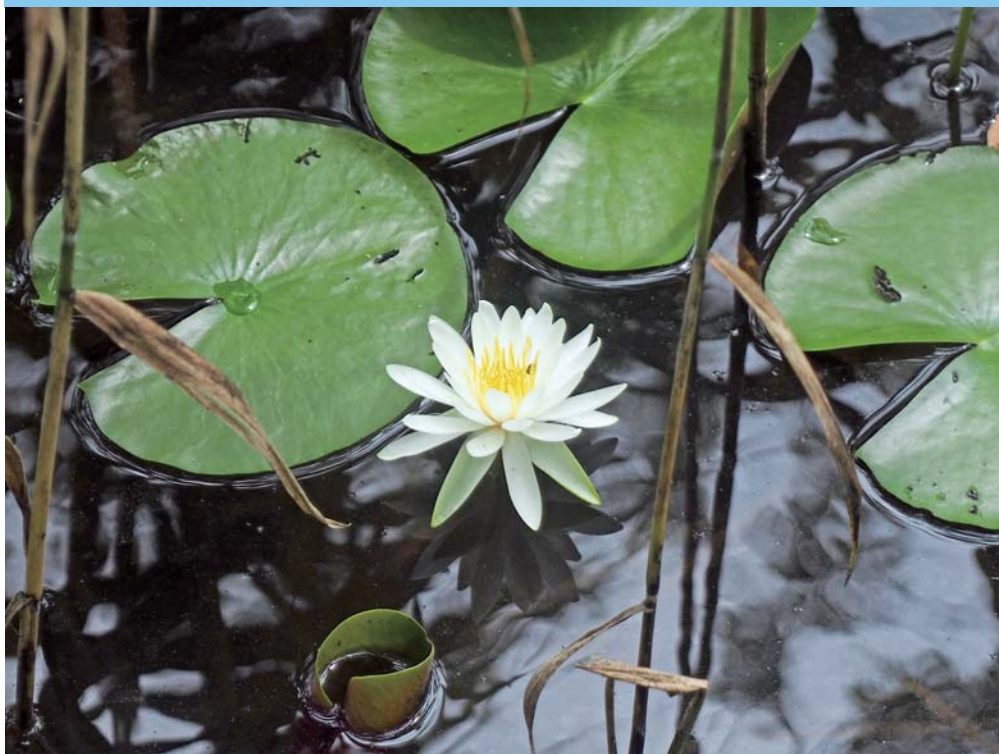
せいよくじょう かせん
生育場所：湖やため池、河川や水路などに生えています。

とくちょう げんさん すいそう かんしやう さい
特徴：北アメリカ原産で、もともと水槽の中に入れる観賞用植物として栽培されていたものが、野生化して生えています。別名フサジュンサイやカボンバ、キンギョモと呼ばれています。葉が糸状に切れ込んでいて、葉を全体で見ると扇型のような形をしています。多年草で花は7～10月頃に咲きます。

※3 多年草：個体の寿命が3年以上ある植物です。

※4 重点対策外来種：総合対策外来種の内、甚大な被害が予想されるため対策の必要性が高い種です。

えんげい
園芸スイレン



かんきょうしょう そうごうたいさくがいらいしゅ じゅうてんたいさくがいらいしゅ
環境省：総合対策外来種／重点対策外来種

ぶんるい もく か ぞく
分類：スイレン目スイレン科スイレン属

生育場所：湖やため池に生えています。

とくちょう えんげい じせい なかまどうし ひんしゅ
特徴：園芸スイレンとは、海外に自生しているスイレンの仲間同士で品種

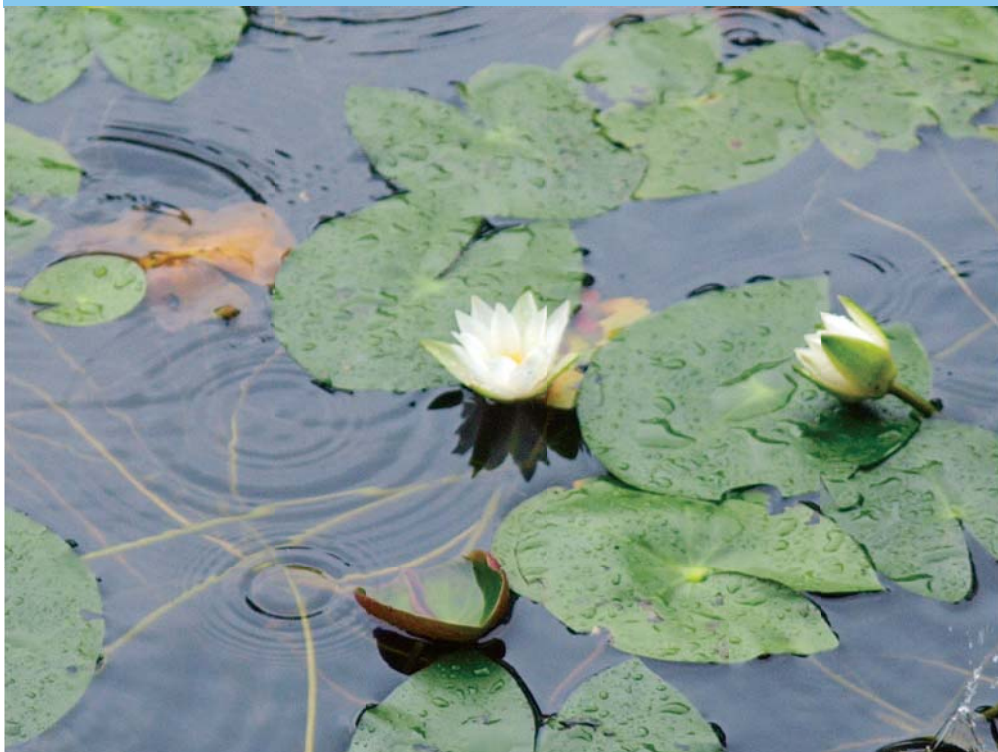
かいりょう さいばい かくち
改良したものです。おもに植物園や公園などで栽培されていたものが各地

で野生化しています。多年草で、花は白、黄色、赤、ピンク、青や紫など

さまざまな色があります。根は横に伸^のび、葉が水面をおおいつくしてしま

うと、その水域の生態系に大きな影響^{すいいき せいたいけい えいきょう あた}を与えると考えられます。

ヒツジグサ



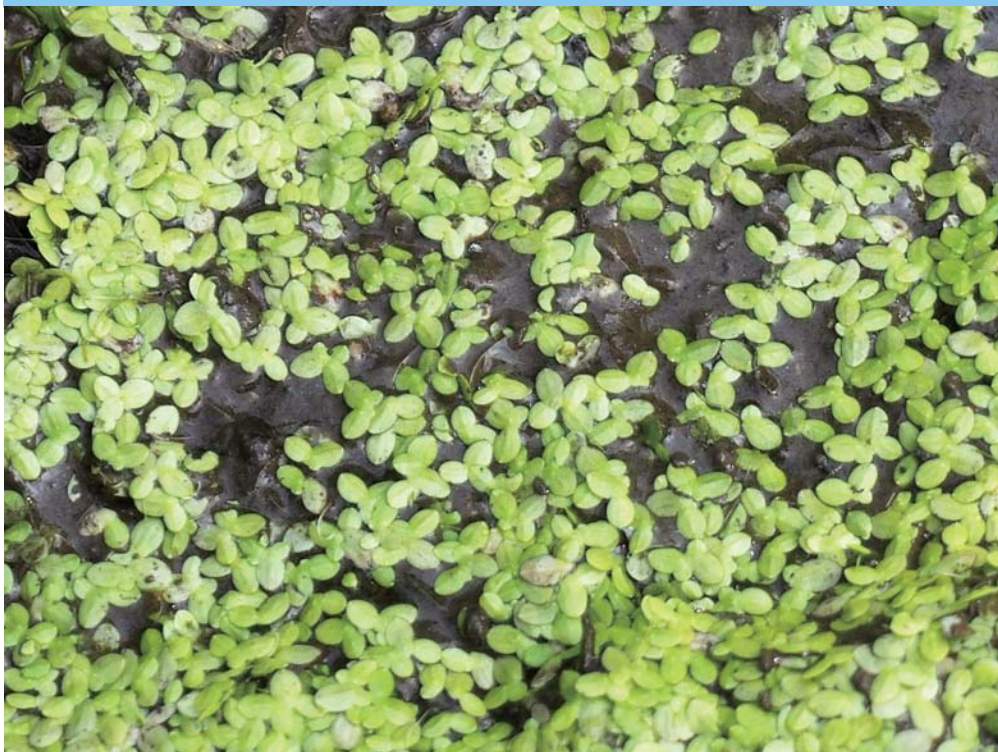
しまねRDB: ^{じゅんぜつめつきぐ}準絶滅危惧 (NT)

^{ぶんるい}
分類：スイレン目^{もく}スイレン科^かスイレン属^{ぞく}

生育場所：^{ふしょくえいよう}腐植栄養または^{ひん}貧～^{ちゅうえいよう}中栄養の湖やため池、^{しつげん}湿原の池などに生えています。

^{とくちょう}
特徴：土の中にある太く短い根から水面にいくつもの葉を出します。水面の葉は^{だえんけい}楕円形～^{らんけい}卵形で、^こ切れ込みがあります。多年草で花は6月～11月頃^{ごろ}に咲きます。1つの花が2～3日^さ咲き続け、夕方4時頃^{ごろ}に1度閉じてから、翌朝^{よく}に再び開きます。花の中では先にめしべが成熟し、その後おしべが成熟^{せいじゅく}します。

アオウキクサ



ぶんるい もく か そく
分類：オモダカ目サトイモ科コウキクサ属

生育場所：ため池や水田、水路などに生えています。

とくちょう なら ふつう
特徴：水田などで、ウキクサと並んで普通に生えている一年草※¹です。水面に浮かんでいる部分は、葉と茎が変形してできた葉状体と呼ばれています。この葉状体から根が出ています。いくつかの葉状体がつながって群体（コロニー）をつくり1つの植物のように見えます。秋になるとこの葉状体は枯れてなくなり、種子によって冬を越します。

※¹ 一年草：満一年以内に種子から発芽、生長、開花、結実の一生を終える植物です。

ウキクサ



大きい葉はウキクサ
小さい葉はアオウキクサ

ぶんるい もく か そく
分類：オモダカ目サトイモ科ウキクサ属

生育場所：ため池や水田、水路など幅広い環境に生えています。

とくちょう ちが う
特徴：アオウキクサと違い、何年も生きる多年草です。水面に浮かんでい
る部分は、葉や茎が変形してできた葉状体と呼ばれ、2～8mmくらいの大き
さです。この葉状体が2～4個つながった群体（コロニー）をつくりま
す。秋になると葉状体は1度は沈みますが、次の年に浮上して新しい葉状体
ができます。

スブタ



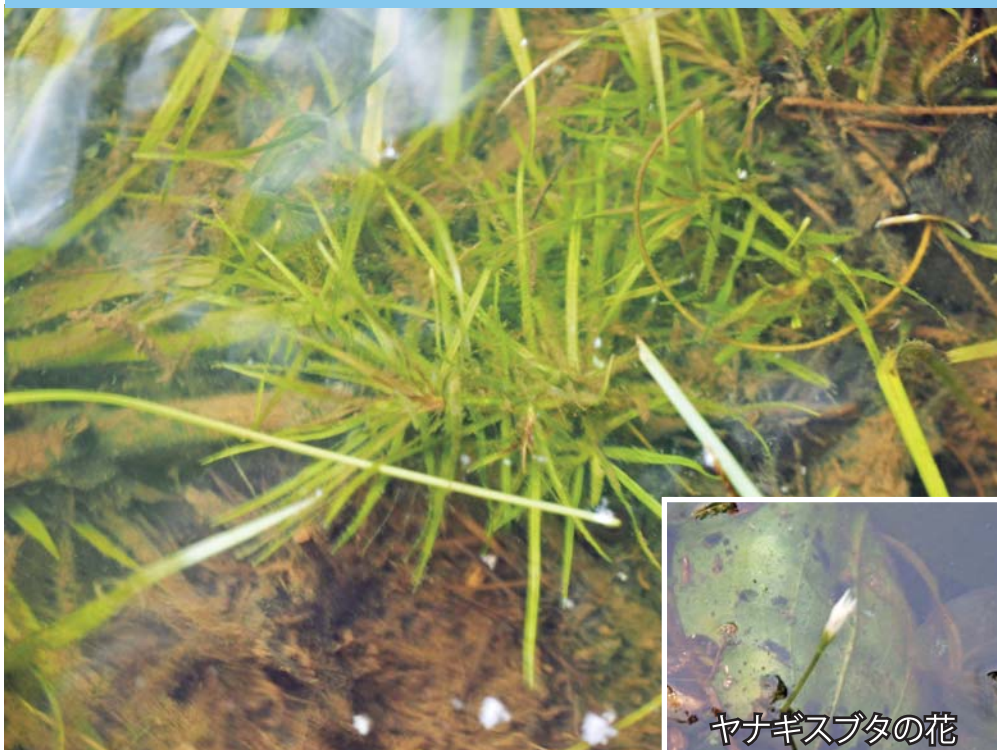
じゅんぜつめつきぐ かんきょうしょう ぜつめつきぐにるい
しまねRDB:準絶滅危惧 (NT)、環境省RDB:絶滅危惧II類 (VU)

ぶるい もく か そく
分類: オモダカ目トチカガミ科スブタ属

生育場所: ため池や水田、水路などの浅い水域に生えています。

とくちょう くき ちよくせつ
特徴: 茎がとても短く、根から直接たくさんの葉が出ているように見えます。一年草で7月～10月頃に白くて細い花が咲きます。葉は細長く、先がとがっています。スブタの名前は、女性の乱れた頭髪をスブタ髪ということから来たといわれています。

ヤナギスブタ



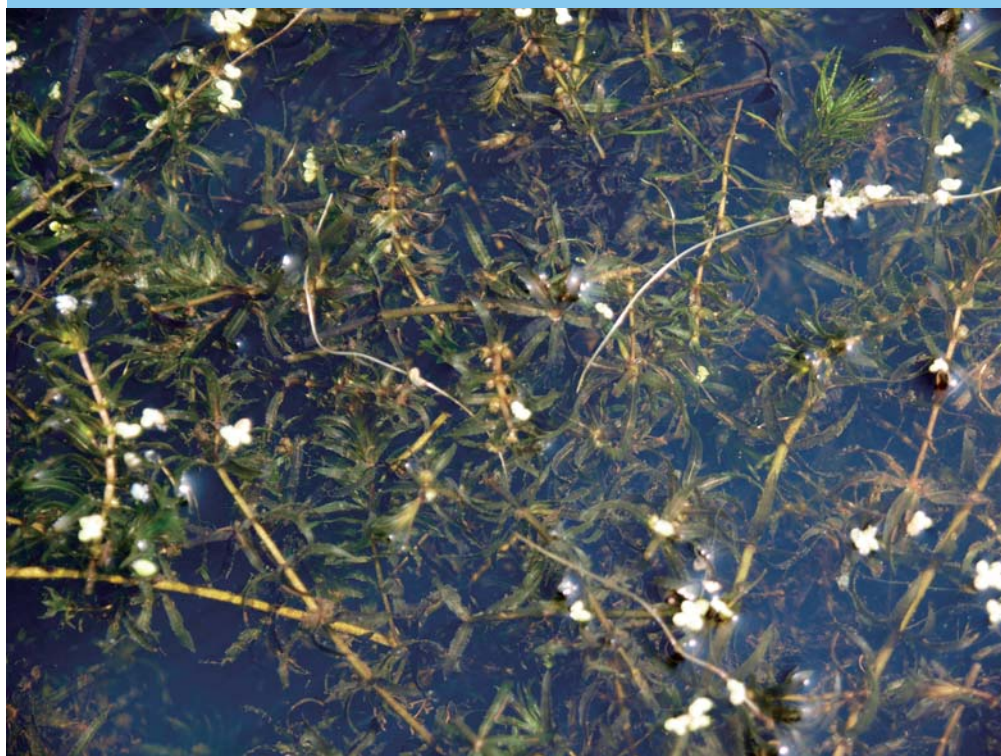
じゅんぜつめつきぐ
しまねRDB:準絶滅危惧 (NT)

ぶんるい もく か そく
分類：オモダカ目トチカガミ科スブタ属

生育場所：ため池や水田、水路などに生えています。

とくちょう ちが くき の えだわ
特徴：スブタと違い茎が伸びよく枝分かれをして、高さが5～25cmくらいになります。一年草で7月～10月頃ころに白くて細い花が水面に出てきて咲さきます。葉は細長く、茎や葉がスブタよりも細くヤナギの枝えだのように見えることからヤナギスブタという名前がつきました。

クロモ



ぶんるい もく か ぞく
分類：オモダカ目トチカガミ科クロモ属

かせん
生育場所：湖やため池、河川、水路などに生えています。

とくちょう ひかくてきふつう がいふけいたい へんか と
特徴：比較的普通に生えている水草ですが、外部形態の変化に富んでいて、時に同じ科のオオカナダモやコカナダモと見分けるのが難しいこともあります。花は雄花と雌花が分かれていて、雄花の花粉が水の中を流れていって、雌花にたどりつき、受精します。多年草で花は8月～10月頃に咲きます。雄花や雌花を別々につけるものと、両方つけるものがあります。

オオカナダモ



かんきょうしょう そうごうたいさくがいらいしゅ じゅうてんたいさくがいらいしゅ
環境省：総合対策外来種／重点対策外来種

ぶんるい もく か そく
分類：オモダカ目トチカガミ科オオカナダモ属

かせん
生育場所：湖やため池、河川や水路などに生えています。

とくちょう げんさん じっけん
特徴：南アメリカ原産で、もともと植物生理学の実験用植物として入れられたものが、野生化して生えています。別名アナカリスと呼ばれています。日本には雄花をつける雄株のみが生えています。多年草で植物が途中で切れても、その切れ端から生長していき、どんどん広がっていきます。クロモとよく似ていますが、冬の間も葉が枯れず緑色をしていることから、
くべつ
区別することができます。

コカナダモ



かんきょうしょう そうごうたいさくがいらいしゅ じゅうてんたいさくがいらいしゅ
環境省：総合対策外来種／重点対策外来種

ぶんるい もく か そく
分類：オモダカ目トチカガミ科カナダモ属

生育場所：湖やため池、^{かせん}河川や水路などに生えています。

^{とくちょう}**特徴：**^{げんさん}北アメリカ原産で、もともと^{じっけん}植物生理学の実験用植物として入って来たといわれています。水の^{よご}汚れた場所だけでなく、わき水のあるきれいな水の場所にも生えることができます。日本には^{おぼな}雄花をつける^{おかぶ}雄株のみが生えています。多年草で植物が^{とちゅう}途中で切れても、その切れ端^{はし}から生長していきます、どんどん広がっていきます。クロモとよく似ていますが、1つの^{ふし}節から^{まい}葉が3枚出ている点で、^{くべつ}区別することができます。